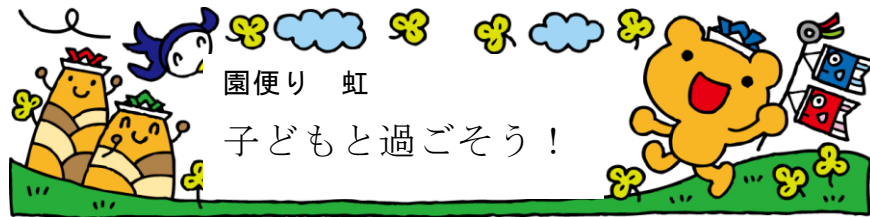


保護者の皆様

2020年5月1日

明星幼稚園

園長 渡邊 智恵子



皆様、いかがお過ごしでしょうか。

先の見えない大きな不安の中、毎日懸命にお子様と過ごしていらっしゃるかと存じます。

感染症が終息するにはとても時間がかかるといいます。そしてその後日常生活が不自由なく過ごせるまでには、うかがい知れないほどの、人々の努力と時間が必要になることでしょう。

ですが人類はどんなに時間がかかったとしても、この脅威を乗り越え、子どもたちが笑顔で普通の日常を過ごせる日が必ずやってきます。

幼い子どもたちが生きていく、すぐ先の未来のために、一緒に踏み張りましょう。

さて、自宅にいるとついついメディアやゲームに子守りをさせがちになっているご家庭もあるのではないのでしょうか。幼稚園からもYouTubeで動画を配信しておりますが多くの方に見ただけのようであれしく存じます。

お子様が動画を見る際にはYouTube画面右上のプロフィールアイコン→「設定」をタップし「制限付きモード」にするようにしてください。すでに実行している方もいらっしゃるでしょうが、インターネットサイトもお子様だけで視聴させるのであれば、年齢制限など気を付ける必要があります。「視聴時間」を確認できる機能もあるので、見すぎないように注意しましょう。

親子でいる今を、一生の中の短い期間ととらえるか否かで、この先の子供の成長や親子関係に大きく影響すると考えます。

一日に一度でいいので、例えば一緒に「歌ってみる」「踊ってみる」「筋トレしてみる」「折り紙をしてみる」「餃子を包んでみる」「餃子の皮でピザを作ってみる」「トランプやボードゲーム、(人生ゲーム)をしてみる」など、いかがでしょうか。

小さいお子さんは楽しいことは何度も何度も繰り返したくなります。付き合う大人は疲れてしまって、せっかく楽しかったひと時を最後は「いい加減にして。」という否定的な言葉で終わらせてしまったことはありませんか。

そうならないために、始める前に「2回までね」「何分までね」と約束してから始めましょう。もしお父さんお母さんに余裕があったら、「あともう1回、最後にやろうか。そして明日またね。」と提案すれば、お互い楽しい気持ちのまま終われるかもしれませんね。

私事ですが、息子が赤ん坊の頃、寝る前によく泣くことがありました。きっと楽しくて寝たくないのだと考え(まったく違ったかもしれませんが)「楽しかったね。寝たくないのに眠くなっちゃったのね。」と声を掛け付き合っていました。幼児期になると家族でのお出かけやお友だちとの楽しい時間が終わる間際になると「楽しかった～、帰りたくない～」と言っては泣いていました。私は「今日はすごく楽しかったんだね。終わるのは残念よね。」と彼の気持ちを汲み、「でももう帰る時間だからね。」と泣く彼を抱き上げ帰りました。おそらく自分で気持ちを整理したのだと思いますが、いつの間にか泣き止んでいました。

一日中一緒にいると親子の感情がぶつかり合ってしまうこともあるでしょう。親御さんはお互いが落ち着いたところで冷静になって、お子さんの感情に耳を傾け、何が嫌だったのかを聴いてあげてください。そして「お母さんも・・・が嫌だったのよ」と話してください。親として毅然として伝えなければならないこともあります。お互いが友だち同士のように、お子さんと同じ高さで話す事も大切です。

家で過ごす時間が長くなりますが、ご参考になれば幸いです。

4月27日にお知らせいたしました。皆様にお会いできるのがさらに先になってしまいました。

どうぞ健やかに過ごしていただき、再会できる日を心から待ち望んでおります。皆様ご自愛くださいませ。